

ななかま

わくらばの 寝床は温き 大地かや
見えており 潜みおる鹿 秋風の

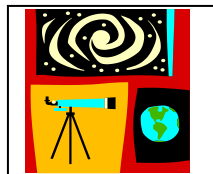
児童生徒作品欄です！

プリンス頓小学1年生「夏休み絵日記」より
☆きょう ぼくは、からてのクラスで しはんから、ちやいろの三きゅうのおびをもらいました。(さとし)
☆きょう、れんの一さいの「一しょうもち」をかき、おいわいをしました。しゃしんをたくさんとりました。れんはなきました。(ウィリアム)
☆ぼくと みうは、くるまでどうぶつえんへいきました。キリンを一ばんにみました。カバをみたら、大きな口をあけたので、ぼくは、びっくりしました。(かいと)
☆ぼくは、でんしゃがすきです。にほんでは、しんかんせんのにのりました。(かい)
☆きょうは、おんせんにいきました。そとのおおきなふるに コナとはいりました。きもちよかったです。(かいる)
☆パパとスケートにいきました。ひとりですべれるようになりました。(れいな)
☆このまえ、カヤックのにのりました。たのしかった。さかなが いっぱいとびました。さいごに ひとりでこぎました。(ぜん)
☆きのう、かあさんが、おおきな みずでつぼうをくれた。うれしかった。(たいら)
☆わたしは、ハワイでルアウにいきました。カヌーに はじめてのにのりました。たのしかったです。フラダンスは、とてもきれいでした。(リリー)

日本の学校1「成績」続き

学力を計ることは簡単ではありません。まして記憶力がよければ解けてしまうような問題だけで人の能力を計ることは間違っていると思います。日本の学校での学力評価は、大まかに4つの観点で行われています。それは、①関心・意欲・態度②思考・判断③表現・技能④知識・理解としてくくられています。授業中の発表や共同作業でのリーダーシップ、作品を仕上げるまでの根気強い取り組みや、ノートやワークブックなどのていねいさを逐一評価し、さらに定期試験でその理解度や表現力を評価し、その総合力で成績は付けられます。

上記の①～④は25%ずつに割り振られるので、最終的に定期テストの点数の成績に占める比率は40%ほどになるのでしょうか。意外に大変な成績付け作業でした。



プリンス頓日本語学校新聞



平成24年度 No.17号
平成24年 9月16日
文責 長尾重範

行事予定表

9月30日前期授業終了(通知表を受け取る日)
10月14日21日 参観日(懇談日)
10月28日漢字検定
11月4日新一年生募集説明会

御挨拶 JASL1担任 Holly Didi-Ogren
今年からJASL1を教えさせていただくホリー・ディディオーグレンです。アメリカで生まれ育った私は大学時代から日本(語)を勉強していて、5年間岩手県に住んでいました。ニュージャージー大学で日本語学科の担当をしております。趣味はハイキングと歌うことです。よろしく願い致します。

御挨拶 JASL2担任 竹下 影
今学期よりプリンス頓日本語学校の一員に加えていただきます竹下です。日本では長年海外からの留学生の日本語教育に関わり、日本語を第二言語として習得した学生らが様々な分野で活躍する姿を多く見てきました。言語は一生の知的財産ですので、これから日本語を第二あるいは第三言語として学ぶ皆さんにとって何か将来の生活に生かせる日本語能力を身につけられるように、精一杯皆さんと共に頑張っていきたいと思っています。

6年生授業「平和について考える」より 定型コメントを作りました

自分だけを考えることは「平和」がこわれることだ。(スーライアン)
思いやりの心を守ることは「平和」を保つことだ。(ディジョージエミリ)
優しさを心がけることは「平和」を取り戻すことだ。(藤本恭平)
暴力をなくすことは「平和」を保つことだ。(山本翔太)
戦争をだめだと思う心が「平和」を連れてくる。(オキ竜輝)
歴史をうらむことでは「平和」にならない。(坂田洗嵩)
けんかをするとは「平和」がこわれることだ。(松本圭幸)
怒りで争いをするとは「平和」をこわすことだ。(仲村玲衣)

一部校正しています